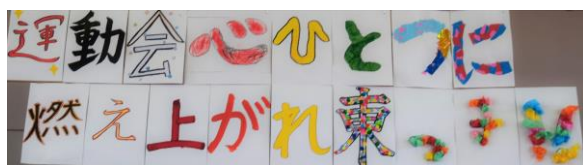




東っ子通信

- E: 笑顔の自分を探そう
- A: 安心安全な学校
- S: 信じよう!! 自分の可能性
- T: 互いを認め合い共に学び合う仲間たち

“E 笑顔の自分を探そう”



“T 互いを認め合い共に学び合う仲間たち”

5月29日(日)に、こども医療福祉センターとの共催で、第67回療育運動会を行いました。今年の運動会のテーマは「運動会 心ひとつに 燃え上がれ 東っ子!!」。

現在の在籍児童生徒数が例年より少ないため、赤白対抗戦や集団での競技がうまくできるだろうかと心配しましたが、児童生徒の熱心な取組、競技内容の工夫により例年と変わらない、白熱した活気のある運動会になりました。また、今年は人数制限こそしましたが、保護者の皆様に参観いただいたおかげで、児童生徒も練習の成果を存分に発揮することができました。今年の紅白対抗戦の結果は、赤68点、白66点の接戦で、赤組が優勝、白組が準優勝という結果でした。



プラカードを先頭に入場行進

“S 信じよう!! 自分の可能性”

自分を信じて 仲間を信じて

今年の療育運動会の競技内容を紹介します。
 小学部の「VS 東2022」は、①チェッコリの歌で踊り、間奏のときに玉入れをする「チェッコリ玉入れ」、②同じ絵柄の段ボールを探して積み重ねる「積み重ねりレー」、③二人組での「転がしピンポン」、④「ぼくの先生はフィーバー」の曲で踊る「ダンス」の4つで構成されたものでした。玉入れでは、50点や30点などの得点の異なるかごをねらって投げ、50点に入ると大きな拍手が起こりました。転がしピンポンでは、一度味方にパスをしてから相手に打ち返すというルールがありました。

相手からのボールを止めて味方にパスをする役、パスされたボールを相手に打ち返す役を決めて取り組み、大接戦となりました。



転がしピンポンの様子

中学部の「ようこそ! アニメの世界へ!」は、日頃取り組んでいる腹筋や背筋などのトレーニング、シャトルラン、平均台渡り、車いすでのスラロームなど、生徒一人一人に応じたサーキット運動を組み合わせた競技でした。自分を信じて、全力で取り組む中学生のたくましい姿に大きな拍手が起こりました。競技中には、アニメキャラクターに仮装した先生たちも登場しました。



全力のシャトルラン

全体種目は「2022東っこ杯」と「東っこショートタイム～バルーンよ 届け～」に取り組み、「東っこ杯」では、ポッチャをしました。「ショートタイム」は、2人ペアで、シーツやネットを張った輪などに風船を乗せて運び、最後は先生とじゃんけんをして勝ったら通過。そして、次のペアにバトンタッチするという競技でした。仲間を信じ、心と動きを合わせて取り組みました。



ショートタイムの様子

保護者の皆様、センターの皆様 応援ありがとうございました。



※東っ子通信はホームページでもご覧いただけます